

朴慶植編

在日朝鮮人関係資料集成(戦後編) 全10巻

小林知子・宮本正明・長澤秀・金栄・高柳俊男解題
A4判・上製・函入・総約3,500頁
揃定価280,000円
'00年6月〜'01年2月配本完結〔編集復刻版〕

朴慶植氏は『在日朝鮮人関係資料集成』(三一書房)を刊行後、「戦後編」の資料を収集し、構成・日次まで作成されていた。氏の突然の死(九八年二月)によって中断したこの作業は、在日朝鮮人運動史研究会が引きつぎ、遺族の了解を得て全一〇巻で刊行することとなった。①②在日朝鮮人連盟関係、③在日本大韓民国居留民団関係、④在日朝鮮統一民主戦線関係、⑤在日朝鮮人職業名鑑・文化年鑑、⑥教科書・教育関係雑誌、⑦都立朝鮮人学校関係、⑧⑩朝鮮人刊行新聞・雑誌。解放直後のこれで見ることができなかった貴重資料多数を含む。

●推薦Ⅱ姜在彦・姜徳相・宮田節子・山田昭次

戦前期海外商工興信録集成 全8巻

解説(高嶋雅明)付き
A4判・上製・総3,272頁(原本総7,746頁)
揃定価200,000円
'09年10月〜'10年5月配本完結〔編集復刻版〕

戦前期、朝鮮・中国・樺太・台湾・東南アジア・南洋など、アジアに進出した日本人実業者は相当数に達し、それぞれの地域で大きな地位を占めるものもあった。本資料集成では、これらの実業者に対して行われた、民間調査機関による調査の結果を収録した。個々人の商工業者の履歴、海外進出に至る動機や活動、また事業や経営といった商工業活動の実際など、公的な調査機関にはない項目や記述を多く含んでいる。日本人実業者たちの五万件におよぶデータは戦前期の中小商工業者の存外経営の実態を活写する。

●推薦Ⅱ木村健二・柳沢 遊

大阪朝鮮詩人集団機関誌〔昭和28年〜昭和38年刊〕

チンダレ・カリオン 全3巻・別冊1

別冊Ⅱ解説(宇野田尚哉・細見和之)・鼎談(金時鐘・鄭仁・梁石日)・総目次・索引
A5判・上製・総922頁
揃定価36,000円
'08年11月刊〔復刻版〕

ここに復刻する『チンダレ』『カリオン』『原点』『黄海』は、在日朝鮮人文化運動・在日朝鮮人文学・サークル詩運動といった観点から今後詳細に検討されるべき資料であり、オルグされた側がオルグした側の意図を超えて自己主張を始めるといふ、そのダイナミズムが特に重要である。五〇年代という在日朝鮮人にとってはとりわけ困難の多かった時代に、詩をもってその時代と真摯に向きあった若き詩人たちの言葉をいかに汲み取るかが、我々の課題であろう。

●推薦Ⅱ金時鐘・梁石日・鶴飼 哲・米谷匡史

朝鮮戦争下公安関係資料

——光永源植資料 全5巻・別冊1
編・解説・解題Ⅱ井上敏夫・井上學・渡部富哉
B5判・上製・総2,006頁
揃定価100,000円
'11年4月刊〔編集復刻版〕

本資料集は、弊社刊行のマイクロフィルム版『戦後日本共産党関係資料』、復刻版『特審資料』とともに、朝鮮戦争期に展開された日本共産党とそれを監視し弾圧する公安機関双方の活動を克明に解き明かす。原資料は、山口県地方公安調査局調査官を務めた光永源植氏の遺した職務資料。一九五二年〜五五年間の、朝鮮戦争、日本共産党「五〇年問題」、在日朝鮮人運動に関する、山口県を中心とした詳細かつ貴重な史資料一二六点を復刻。

●推薦Ⅱ加藤哲郎

関連図書

在日コリアンの経済活動

——移住労働者、起業家の過去・現在・未来

リー スー イム
李 洙 任

編著

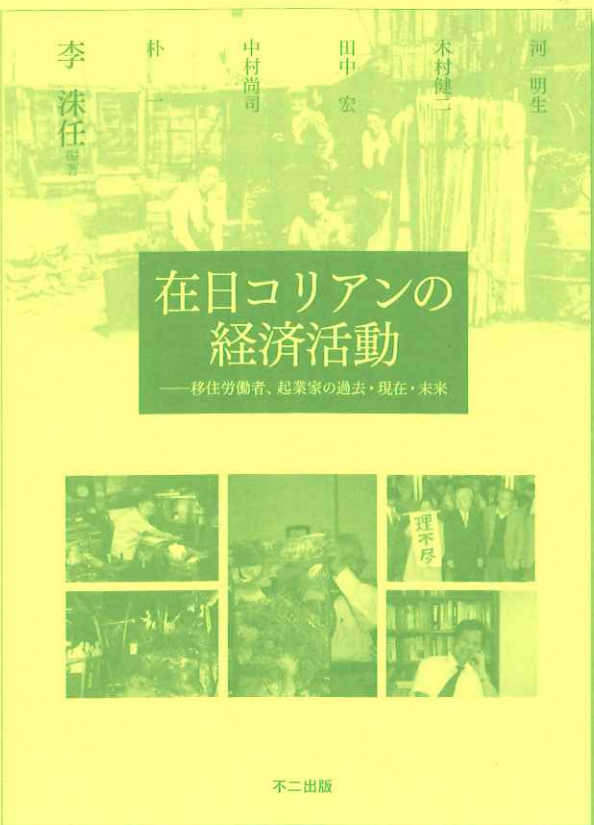
河明生・木村健二・田中宏・中村尚司・朴一 著

A5判・上製・総274頁・2012年3月刊
ISBN978-4-8350-7084-1 C3033 ¥3800E
定価(本体3,800円+税)

不二出版

日本社会と在日コリアンの経済活動 との関係性を解明する意欲作!

等質性の維持に力が注がれる日本社会において、外国籍住民を含むマイノリティによる経済活動の研究は立ち遅れていた。本書はとりわけ在日コリアン(日本在住の韓国・朝鮮人を総称)の戦前期からの経済活動に目を向け、その特性を明らかにする。経済のグローバル化を経てマイノリティ・ビジネスの急増した日本社会のあるべき姿をも投げかける意欲作である。



不二出版

不二出版

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話▼03-3812-4433
FAX▼03-3812-4464
振替▼00160294084

2012/3

多文化共生社会の実現に向けて

韓^{ハン}榮^{ヨン}恵^ヘ（ソウル大学校 日本研究所 所長）

エスニック・ビジネスは、一九九〇年代に入って、移民研究の主要領域の一つともなったが、日本で展開されているエスニック・ビジネスに関する研究は、まだ端緒にいたばかりである。本書では、在日コリアンの経済活動、とりわけこれまであまり取り上げられてこなかった営業活動や就職問題にも焦点をあて、歴史的な経緯から現状までをさまざまな手法で論じ、検証している。

民族差別にあえぎ、社会的・法的・経済的差別待遇から日本人と同等の就業機会が与えられなかった在日コリアンは、いかに生計を維持しようとしたのか。「エスニック・マイノリティ」という逆境を起業家精神へと昇華させ、果敢に事業展開を挑んで、華々しい成功をおさめた在日コリアンが現存する一方、運命や国家制度に翻弄され、困難な人生を余儀なくされた者も存在する。こうした明暗も含めて、在日コリアンのビジネス・生業^{なまわい}の成り立ちや特質、問題点について学び、理解を深めることはきわめて重要であり、多文化共生社会の実現に向けて本書が果たす役割は大きい。

●目次より

推薦 多文化共生社会の実現に向けて
刊行にのぞんで

I 歴史的な視点から

- 第1章 在日朝鮮人古物商の成立と展開 木村健二
- 第2章 京都西陣と朝鮮人移民 李 洙任
- 第3章 京都の伝統産業に携わった朝鮮人移民の労働観 李 洙任
- 第4章 朝鮮人軍人の戦後の暮らし 中村尚司
- 第5章 在日コリアンと日本の「公職」 田中 宏

コラム1

企業の社会・経済的責任
——丹波マンガン記念館から学ぶ

李 洙任

II 生き残りをかけての精神史

- 第6章 在日コリアンの起業家精神とエスニック・アイデンティティ 朴 一
——エムケイグループ創業者・青木定雄の事例研究
- 第7章 在日コリアン系起業家 デイビッド・ウィリス／李 洙任
- 第8章 在日一世韓国人の錦衣還郷の起業家精神 河 明生

コラム2

マイノリティの就職差別

李 洙任

III 異文化経営の視点から——総括・展望

- 第9章 日本における多文化共生の実態 李 洙任
- 第10章 日本の外国人労働者を取り巻く雇用システムの光と闇
——社会統合・労働統合からみた異文化経営における課題 李 洙任
- 第11章 日本企業における「ダイバーシティ・マネージメント」の可能性と今後の課題——「外国人材」活用の現状と問題点を通して 李 洙任

あとがき 李 洙任

索引 李 洙任

おわりに——「みんなを幸せにすること」と異文化経営の課題

高度外国人材力を確保するのにやっきになる日本企業は、「国籍」や「人種」という枠組みを取り払い、雇用される者の多様性に着目する経営を実践すべきであろう。留学生確保に殺到する一方、日本人学生の内定率は悪化している。経済産業省が主張する「留学生、大学、産業界の“Win-Win-Win”関係」の構築で日本人学生が排除されているのではなからうか？ 日本型経営を世界に誇った時代では外国人は排除されていた。そして、今日グローバル時代という言葉に翻弄され、日本人のポテンシャルが軽視されている。このような状況で、異文化経営の課題であるダイバーシティ・マネージメントを現実のものにするのは不可能だ。「外国人枠」や「日本人枠」という雇用システムを是正し、国籍を超えた雇用システムを確立すべきである。個々の能力に着目する雇用システム、それがダイバーシティ・マネージメントの真髄なのである。それを実現するには、教育システムの見直し、そして日本の大学での就学の質を高めることによって、日本の大学で就学するすべての学生のポテンシャルを引き出す教育システムを確立しなくてはならない。現在の日本人学生像を作り出したのは、日本企業そのものであり、日本の大学にも非があると言えない。

本章の最後に「ソフトバンク新30年ビジョン情報革命で人々を幸せに」で発表されたソフトバンク社長・孫正義の出自を紹介したい。孫正義の単独のプレゼンテーションの終わりに近づいたとき、神社で撮影された古いモノクロ写真の女性の写真が大写しされた。その時、孫は目に涙を浮かべて次のように語った。

最後に、見慣れないおばちゃんの写真、私にとっては大切な、大切な人物。一四歳で（朝鮮半島から）日本に渡ってきた私のおばあちゃんです。

内容見本